【参考資料 6】

2026. 7. 13

指定管理者主要事業概要

■R7 年度事業実績

□取扱数量･取扱金額

1 取扱数量

(1)市場計＝205,410 トン

➩昨対▲991 トン(99.5%)➩ワースト記録

➩ピーク時[1988 年度(S63 年度)、408,904 トン]の 50.2%

➩当初事業計画値(782,072 トン)の 26.3%

(2)青果物=176,462 トン

➩昨対▲731 トン(99.6%)

➩ピーク時[2000 年度(H12 年度)、272,872 トン]の 64.7%

(3)水産物=28,948 トン

➩昨対▲260 トン(99.1%)

➩ピーク時[1988 年度(S63 年度)、140,613 トン]の 20.6%

2 取扱金額

(1)市場計＝92,858,384 千円

➩昨対▲2,094,882 千円(97.8%)

➩前年超えは 3 年間でストップしたが 900 億円台は維持

➩ピーク時[1991 年度(H3 年度)、178,536 百万円]の 52.0%

➩当初事業計画値(346,333 百万円)の 26.8%%

(2)青果物=57,063,810 千円

➩昨対▲3,574,755 千円(94.1%)

➩ピーク時[1991 年度(H3 年度)、69,653 百万円]の 81.9%

(3)水産物=35,794,575 千円

➩昨対＋1,479,873 千円(104.3%)

➩ピーク時[1984 年度(S59 年度)、112,877 百円］ の 31.7%

3 平均単価

(1)市場計=452.1 円

➩昨対▲8.0 円(98.3%)

(2)青果物=323.4 円

➩昨対▲18.8 円(94.5%)

➩果実、野菜とも単価安

(3)水産物=1,236.5 円

➩昨対＋61.7 円(105.2%)

➩全部門で高値

□経営成績

1 貸借対照表

(1)資産合計=454,168,506 円

(2)負債合計=301,050,429 円

(3)純資産合計=153,118,077 円(資本金 12,000 千円＋利益剰余金 141,118 千円)

(4)自己資本比率=33.7%

➩財務基盤は安定

2 損益計算書

(1)営業利益=20,129 千円

(2)当期純利益=13,581,629 円

⇨15 期連続して黒字決算

⇨財政は健全

3 大阪府納付金

(1)納付金Ⅰ(5 年間定額) 年額 620,000 千円⇨協定書どおり遅滞なく納付

(2)納付金Ⅱ(変動制) 売上高割利用料金＞提案額=上回った額の 1/2=2,229,735 円

4 果実は市場に還元

⇨経営努力により捻出した原資は、市場事業(活性化事業及び修繕事業)に投資還元

➢R7 年度=5,017 千円

➢累計=614,808 千円

□主要事業の実績

1 建替再整備

⇨青果・水産両部門の検討会に参画、個別課題の解消等実効性のある再整備計画となるよう発信を行うとともに場内関係者をコーディネート

⇨業界としての基本方針を集約するため、従来の「卸 4 社会議」に加え、青果・水産両仲卸組合トップの参画を得て、合意形成を目指し建設的に協議(R8.3.9)

2 施設管理業務

(1)危機管理への対応

○災害に強い市場づくり

○緊急時の体制整備

○消防・防災訓練の実施

○非常食品、資器材の備蓄拡充

○災害用マンホール(4基)の PR、習熟

○有資格者(防火・防災管理者、自衛消防業務、消防庁応急手当対応職員)の配置

(2)市場施設の指定・許可

⇨公正・公平に処分(1,685 件)

(3)維持補修事業

⇨現場のニーズを把握しつつ、民間ならではの機動性を発揮し、常にスピーディに事業を執行、市場機能を確保。

⇨152 件、61,307 千円 ※提案額(60,000 千円)を上回る実績

(4)大阪府依頼工事

大阪府に代わって当社が施工する方が事業費、品質、工期等及び業界協議等において一層の効果、効率性が期待できる改修事業等を大阪府に代行して施工

⇨1 事業、71,000 千円(落札率 85.8%)

⇨累計:27 事業、1,085,384 千円(落札率 91.3%)

(5)委託業務

経済性・専門性・品質等において、アウトソーシングのメリットが発揮できる業務について府の事前承認を得て実施

⇨41 事業、414,695 千円(昨対 6,403 円増、101.6%)

(6)利用料金等の徴収、督促等債権管理(P15)

○事業開始の平成 24 年度以降滞納ゼロを堅持

3 市場活性化対策

集荷、販売力を高め競争力ある魅力溢れた市場づくりを目指し、4 分野において、開設者、市場関係者と一体となり府市場ならではの特色ある活性化事業を推進

(1)魅力ある市場づくり

○集荷・分荷・転送機能の強化、荷捌スペース等の確保

○禁煙対策の強化

➩受動喫煙防止対策に関する法の施行及び大阪府受動喫煙防止条例を踏まえ改正した「喫煙ルールの違反行為に対する取扱要綱」による喫煙ルールの遵守の強化

➩違反行為の抑止と違反者に対して効果的な指導啓発を行うため、査察職員として配置されている府非常勤職員(警察 OB, 6 名)を禁煙指導員に委嘱

○交通安全対策の強化

➩加害者を防犯カメラで特定し、損害額を加害者に 100%求償(金銭実害なし)

➩事故発生件数は大幅に減少(61→49 件)

➩外周茨木市道 2 号線の安全対策としてゼブラゾーンの標示とポストコーン(120 本)を設置

○既存照明の LED

➩公共用区域等における既存照明を LED に転換(3,968 基)

○不法投棄の抑止

➩不法投棄件数は 31 件(98%減少)

➩悪質事案は警察への通報と入場禁止の行政処分(入場禁止:1 事案、立件:2 事案)

➢現在新規事案で送検(茨木警察)及び入場禁止処分の法的措置の手続中

○鳥獣害等防止対策

・ハトの糞害対策

➩青果棟 1 番柱から 11 番柱間及び水産棟小通りの天井にネットを設置

・カラスの捕獲

➩茨木市の許可を得て捕獲(1,055 羽)

(2)川上・川下との連携

○産地との連携強化

➩意見交換会の開催

➩産官学連携の推進

○百貨店、量販店等との連携強化

(3)食の情報発信機能の強化

○市場見学会の充実

小学校の社会見学に加え、府直営時には対応不可の一般消費者、外国人も受け入れ

➩20 団体、950 人

○ホームページの全面改修・SNS・ Instagram(インスタグラム)の活用

○管理棟 1 階展示ロビーの内容の充実

○食育発信事業

○事業連携大学との連携事業の推進

(4)指定管理者制度の活用

○民間創意の発揮

・市場サインの新設

➩市場の視認性を高めるため管理棟北側壁面に新たにサインを設置

・施設の稼働率の向上

	仲卸店舗	仲卸事務所
目標値(%)	96.0	78.0
稼働率(%)	95.1(98.2)	75.3(77.4)
達成率(%)	99.1(102.3)	96.5(99.2)

( )は仲卸業者の廃業等による面積を除外した数値

○利用料金制度の活用

・売上高割利用料金を減額(3.0/1,000➩2.5/1,000)

(5)活性化事業費=43,710 千円➩提案額(40,000 千円)を上回る実績

4 大阪府施策との整合性の確保

(1)障がい者の就労支援

(2)あいりん地区日雇労働者の清掃事業の受け入れ

(3)環境問題への取り組み

○魚あら処理費用のゼロ円契約 ▲1,980 万円/年(皆減)

○廃棄物削減効果

・排出量

➢昨対 ▲72 トン(▲1.8%)

➢府直 ▲9, 271 トン(▲70.0%)

・処理費用

➢昨対 ＋2,390 千円(5.6%)

➢府直 ▲63,209 千円(▲58.4%)

○食品ロス削減の取り組み

➩フードドライブコーナーによる食料品等の関係団体への提供。

➢多品目 220 キログラムを提供(賞味期限 2 か月以上)

5 CSR 活動

(1)こども食堂への支援

➩地元茨木市等 2 か所のこども食堂に対して食材の提供等支援➩16 回実施

(2)人権問題の取り組み

(3)障がい者の就労支援

➩知的及び精神障がい者の清掃訓練の実施(44 名の修了生が就労)

6 その他企業価値を高める取り組み

サービスの向上、社員研修の充実、コンプライアンス、個人・企業情報の保護、情報公開体制の整備など

■R8 年度事業計画書

1 管理運営業務の基本方針

令和 8 年度は第 3 期指定管理期間の最終年度に当たることから、5 年間の仕上げの年度としてこれまで培ってきた経験と実績を活かしつつ、市場関係者のニーズや「評価委員会」の指摘・提言を踏まえ、スピード感を持って一層効率的・効果的な管理運営業務に努める。

2 新規事業、重点事業

(1)防災備蓄倉庫の整備

災害に強い市場づくりの一環として、災害等不測の事態において、市場関係者が業務を円滑持続的に遂行し、公的使命を発揮できるよう食料品、生活用品、マスク、消毒薬等の必要な緊急対応資材の備蓄を充実するとともに、備蓄スペースとして管理棟エリア近に防災備蓄倉庫 2 か所を整備する。

(2)サイン塔の改修

市場出入口 4 か所に設置した LED サイン塔の経年劣化が進行しているため、LED の交換、カバー等を改修する。

(3)ハイポール灯の改修

開場以降改修が行われず経年劣化により倒壊の危険性も危惧される管理棟駐車場及び青果エリアのハイポール灯を改修するとともに、消費電力が大きい水銀灯を LED へ転換する。

(4)ハト除けネットの整備

ハトの糞害を防止するため、昨年度施工した青果売場の残されたエリアについてネットを設置するとともに、併せて開場以来手付かずの青果卸売場一帯の天井の清掃を行う。

(5)産地配送トラック停車帯の整備

産地配送トラックの荷下ろしが円滑に行われるよう、青果大通りに 11 か所の停車帯をマーキングにより整備する。

(6)こども食堂の拡充支援

茨木市と連携し、市内でこども食堂を推進する NPO 法人等への支援を 3 か所拡大し、5 か所とする。

(7)建替再整備

場内に設置された「あり方検討会」に参画しながら、実効性のある再整備計画となるよう必要な情報提供や提言を行うとともに、卸 4 社及び両仲卸組合トップ会議の下で業界としてのコンセンサスを目指す

□主要事業

1 維持補修工事(P5)

(1)現場のニーズも踏まえ、市場機能に支障が生じないよう常にスピーディに対応するとともに老朽化による事故の未然防止の工事も対応

(2)ライフラインの供給施設や冷蔵庫関連設備の緊急を要する修繕工事は最優先に対応

(3)事業費=提案額どおり 6 千万円を計上

2 大阪府依頼事業(P5)

○青果・水産売場排水管改修工事(府予算額 66,740 千円)

3　委託業務(P5)

○41 事業、440,465 千円を計上

➩原材料費コストの高騰により事業費は提案額(420,000 千円)を上回るが、市場事業を継続する上で必要とされる業務であり、一般管理費等を見直すことにより財源を確保

4　市場活性化対策(P7、別紙 2)

(1)基本方針

○集荷力と販売力を高め、競争力のある魅力溢れた市場づくりをめざし、引き続き府市場ならではの特色ある活性化事業業務でありを推進

○事業費=提案額(40,000 千円)を上回る 42,000 千円を計上

○財政状況及び市場関係者のニーズ等必要性を見極めながら、事業の拡充など柔軟に運用

(2)禁煙対策の徹底(P7)

○日々の巡回に加え防犯カメラも活用しながら、ルール違反の違反喫煙に対して一層効果的な指導・啓発

○悪質な違反者には告発及び入場禁止の行政処分を科するなど厳正な措置

(3)空き施設の解消(P11)

○目標稼働率➩仲卸店舗(96.0%)、仲卸事務所(77.0%)

5 CSR 活動の推進(P14)

(1)SDGs の目標達成に向けフードロスの削減、子ども食堂への支援など幅広い事業を推進。

(2)人権問題を企業の重要な社会的責任の一つとしてとらえ、人を大切にし、人権を尊重する視点から各事業分野での取り組みを進め、もって企業価値を高める

6 安定した財政基盤の確立(P16, 別紙 1 当初予算案)

(1)収益の確保と経費の節減を図ることにより、単年度黒字の維持に努め、財政の健全化と安定した財政基盤の確立

(2)概ね 100 万円の純利益を計上